

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み一覧（平成28年度）

基本目標		施 策		事 業									
基本目標	施策名	総合戦略 事業名	予算上の 事業名	事業の内容	事業費	重要業績評価指標（K P I）					KPIに対する 事業効果 （外部評価）		
						指標名		目標値	実績値	未達成の理由等			
基本目標1 地域全体で「さ むかわ」の経済 成長を支え安 定した「しごと 」を育みます	きめ細やかな支援 による 経済規模 の拡大と 産業集 積の促進	エコノミック ガーデニング 推進事業	・商工業支援プログラム推進 事業 ・企業等立地促進事業	・経営等に関し専門的な知識を有する中小企業診断士3名を「寒川町地域経済コンシェルジュ」（「コンシェ ルジュ」という）として委嘱した。 ・コンシェルジュと職員が企業を訪問し、事業内容や課題を把握し、支援制度等を検討した。 ・生産性向上に向け、「自動化・省人化セミナー」を実施した。 ・海外・国内展開を視野に入れた「販路拡大支援セミナー」を実施した。 ・コンシェルジュによる創業相談窓口を設置した。 ・町内信用金庫と日本政策金融公庫にも創業相談窓口を設置した。 ・創業支援セミナーを4回実施した。	予算額 61,252,000円 決算(見込み)額 53,262,715円	① 支援メニュー利用数 ② 販路拡大支援数 ③ 新規事業所届出数 ④ 創業に関する支援数	105件 8件 65件 6件	163件 12件 61件 31件	○ ○ × ○	③については、企業等が立地でき る広い場所の確保が困難なことや創 業相談等があっても、空き事業所や 店舗の情報を提供することが出来な かったことにより、町内での創業に繋 げられなかったため。	有効		
基本目標2 「さむかわ」を 知ってもらい、 新しい人の流れ をつくります	アピールポイント の発見・創出と発 信力の強化	観光推進事業	・観光振興推進事業	・県内外のイベント等で、誘客ノベルティ（ハンドミラー）を配布した。 ・県無形民俗文化財である浜降祭の実行委員会に補助金を交付した。 ・さむかわ神輿まつり実行委員会に補助金を交付した。	予算額 508,000円 決算(見込み)額 483,160円	観光入込客数	220 万人	213 万人	×	効果的なPRができなかったため。	有効		
		タウンセー ルス推進事業	・タウンセー ルス推進事業	・定住人口と交流人口の増加に向けて、ターゲット分析や競合分析を行いながら効果的なプロモーション戦 略の検討を行った。	予算額 7,485,000円 決算(見込み)額 7,484,400円	定住等促進に向けたプロモーション活動メニュー数(累計)	方針 策定	方針 策定	○	－	有効		
基本目標3 子育て世代が 安心して子ども を産み育てやす い環境をつくり ます	結婚から子育てま での 切れ目ない 支援の充実	結婚・出産・子 育て環境整備 事業	・小児医療費助成事業 ・不育症治療費助成事業 ・特定不妊治療費助成事業 ・母子保健事業 ・う蝕予防対策事業 ・保育環境充実事業 ・防災活動充実事業	・小児医療費助成事業における通院にかかる対象年齢の拡大に向けて準備を行った。 ・不妊治療費のうち、対象治療に対し、費用の一部を助成した。 ・特定不妊治療の相談はあったが、申請には至らなかった。 ・妊婦健康診査の公費負担額を増額し、妊婦の経済的負担の軽減を図った。 ・2歳児歯科健康診査と歯科保健指導と食育指導を実施した。 ・妊娠期、乳児期、幼児期の歯科保健指導・食育指導を実施した。 ・一之宮愛児園において大規模修繕を行い、保育環境を整えた。 ・町内認可保育園全4園において、国・県の交付金等を活用し、一時預かり事業を開始した。 ・各保育所で園児引き取り時間に合わせ、パンフレットや防災用品配布及びDVDを上映し、啓発を行った。 ・各家庭における防災対策状況についてアンケートを実施した。	予算額 199,204,482円 決算(見込み)額 174,931,849円	① 小児医療費及び妊婦健康診査費用に対する助成率 ② 乳幼児が良好に過ごせる保育確保量の増加率 ③ 待機児童数 ④ 不育症治療費助成対象者の出産若しくは妊娠安定期 に結びついた人数(累計) ⑤ 3歳6ヶ月健診でう蝕のない児の割合 ⑥ 子育て世代包括支援センターにおける支援の必要性 の高い妊婦への支援実施率 ⑦ 幼児に対する災害の備えをしている子育て世帯の率	100% － 0人 4人	100% － 10人 0人	○ － × ×	③については、H28年度に認定こど も園や家庭的保育の開所相談等は あったものの整備には至らなかった ため。 ④については、不育症自体の治療 期間が長いことなどにより申請に至 らなかったため。 ⑤については、平成28年度途中ま での3歳6ヶ月児健診受診者は、2歳 児歯科健診等の取り組みを十分に受 けていないため。	有効		
		家庭教育推進 事業	・家庭教育推進事業 ・家庭教育講座等開催事業 ・子ども読書ふれあい事業 ・家庭学習推進事業	・発達段階に応じた子育てや家庭学習のポイントをまとめた冊子の作成・配布に向け検討を行った。 ・絵本での子育てをテーマにした「ママ・パパのための絵本講座」を実施した。 ・読書ふれあいを目的に0～2歳児対象に「おひざにだっこのおはなし会」を月1回、未就学児対象に「おはな し会」を週1回開催した。 ・学齢期における家庭での学習を推進するために「家庭学習の手引き」を配布した。	予算額 823,000円 決算(見込み)額 822,720円	学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合 ① 小学校 ② 中学校	45% 62%	42.4% 53.8%	×	家庭生活の中で学習をする時間が 組み込まれていないことや、その方 法等が十分に周知できていなかった ため。	有効		
		学力の向上と家庭 教育支援の充実	学力向上推進 事業	・教職員の資質向上事業 ・少人数学習推進事業 ・寒川にこにこ学習推進事業 ・中学校施設改修事業	・校長、教頭経験者を教育フロンティア専門指導員として配置し、若手教員の指導等を行った。 ・算数、数学等の教科を中心に少人数授業を実施した。 ・地域の人材等を活用し、学校以外に学習の相談ができる場を設けた。 ・中学校の図書室に空調機を設置し、普通教室に空調機を設置するための実施設計を行った。	予算額 36,761,000円 決算(見込み)額 33,527,619円	基礎力定着度確認問題の正答率 ① 小学校 ② 中学校	80% 60%	72.9% 60.1%	×	H28年度に問題を一部改定し難易 度が上がったことと、教科や学年によ り設問毎の正答率に大きなばらつき があるため目標を達成しなかった。	有効	
			子育てを応援する 地域社会の実現	子育て応援環 境整備事業	・男女共同参画推進事業 ・地域子育て環境づくり支援 事業	・仕事と生活の調和推進のための環境づくりを行う事業を各事業担当課が実施した。 ・地域子育て支援の行うボランティア団体等の活動の立ち上げや子育て支援活動に対し補助を行った。	予算額 664,000円 決算(見込み)額 306,716円	① さむかわ男女共同参画プラン(仕事と生活の調和)実 施計画の各事業の年度別目標値達成率 ② 子育て支援に関する団体等への支援数(累計)	100% 4件	100% 3件	○ ×	②については、制度の周知不足の ため。	有効
基本目標4 発展し続ける まち「さむか わ」をみんなで つくります	さらなる安心した 暮らしのための防 犯対策の充実	安心なまちづく り整備事業	・防犯灯整備事業 ・防犯対策推進事業 ・交番施設整備促進事業	・要望のあった箇所に防犯灯を可能な限り設置し、夜間の犯罪などの抑制を図った。 ・防犯キャンペーンや防犯カメラ設置、職員による青色回転灯装備車で町内走行、防犯アドバイザーによ るパトロール、講話により犯罪抑止や防犯意識の高揚を図った。 ・寒川駅北口へ交番を設置した。	予算額 29,518,000円 決算(見込み)額 27,889,915円	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数	160件	124件	○	－	有効		
	まちづくり活動へ の若い世代の参 加・参画の促進	若者参画推進 事業	・さむかわ若者会議促進事業 ・協働事業提案制度推進事業 ・さむかわ町民全体会議推進 事業	・寒川青年会議所と共催で「18歳選挙権わたしたちにできること」を開催した。 ・JAさがみ寒川町青壮年部、寒川青年会議所、寒川町商工会青年部、町職員が中心となり、若者のまちづ くり参画促進コミュニティである「まちびとすたいる（さむかわ若者会議）」が設立された。 ・寒川みんなの花火や花火まつりが若い世代が中心の実行委員会により開催された。 ・若者・子育て世代を対象にまちづくり懇談会を9回開催した。 ・協働事業として5事業を採択し、活動に対し補助を行った。 ・さむかわ町民全体会議の構築は、費用対効果を検証し、実施方法を検討した。	予算額 1,500,000円 決算(見込み)額 1,063,000円	若い世代による協働に向けた取り組み件数(累計)	2件	2件	○	－	有効		
	より快適な生活の 実現に向けた交 通環境の整備	公共交通環境 整備事業	・公共交通充実促進事業	・バリアフリー化が図られていない倉見駅へのエレベーター設置や多機能トイレ整備に向け、事業実施主体 であるJRと適宜協議を行った。 ・平成27年度から土・日曜日もコミュニティバスを運行し、移動支援を行った。	予算額 12,600,000円 決算(見込み)額 11,282,350円	① 寒川町内の駅バリアフリー対策率 （バリアフリー化済駅数/全駅数） ② コミュニティバス土・日曜日運行乗降客数(人/日)	66.6% 134人	66.6% 129人	○ ×	目標値にはわずかに届かなかった ものの、土日運行を開始した平成27 年度実績値より増加していることか ら、今後も引き続き、さらなる利用者 増に向け広報やイベント等での啓発 活動を行う必要がある。	有効		